

えびなめぐり



えびなを歩いて
まわって再発見

- 今と昔がよりそうまち
- 道が繋がる交差点のまち
- 古代の歴史ロマンが息づくまち
- 大山道が通るまち
- 川がゆると流れるまち
- 田園風景がひろがる農業のまち
- 四季の移ろいを感じるまち



街歩きにも!
防災にも!

えびな元気ナビ

海老名市公式アプリ

観る・楽しむ
食べる・買うなど
約1,000スポット紹介・
街歩きルート案内


多言語対応

日本語・English
中文簡体・中文繁体
한국어



緊急地震速報
受信時は
避難場所を案内

ダウンロード
方法

右のQRコード、または「App store」、
「Google Play」から無料でダウンロード。
アイコンをタップして起動。

iPhone・iPad用

Android用



Access Information



海老名市役所

<http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

海老名市勝瀬 175-1 ☎046-235-8439(商工課直通)
上記連絡先は、土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始は休みとなります。

観光情報ホームページ

えびなめぐり 検索
<http://ebina-kankou.com>



行き先は
「ちよつと海老名」
が合言葉



海老名駅西口の変遷



2013年
9月12日
撮影



2014年
11月5日
撮影



2015年
9月4日
撮影

海老名市立中央図書館



2015年にリニューアルした中央図書館は、多くの本を自由に手に取ることができ、閲覧席は館内やテラスなど色々な場所にあります。キッズ専用のフロアや書籍販売、カフェスペースを新設し、明るく居心地の良い空間に生まれ変わりました。様々なイベントも開催しています。年中無休です。



えび〜にや像

全国から寄附金を募り、海老名駅西口のシンボルとしてみんなから愛され続けられるようにと作られたえび〜にや像。渋谷の「ハチ公」ならぬ、海老名駅の「えび〜にや」。待ち合わせの際には、ぜひこちらで。



映画のまち

海老名は同一施設に複数のスクリーンがある映画館(シネマコンプレックス)が二つもある映画のまちです。イオンシネマ海老名の前身であるワーナー・マイカル・シネマズ海老名は1993年日本初のシネコンとして、またTOHOシネマズ海老名は2002年VINA WALKとともに誕生しました。



ショッピングのまち

東口には、七つの個性的なショッピングモールが並ぶVINA WALK。西口には、先進的なデザイン空間に選りすぐりのショップが並ぶ、ららぽーと海老名。東西ともににぎわっています。

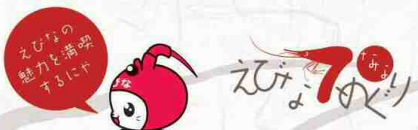


東口



海老名中央公園

ショッピングモール建設の以前からあった海老名中央公園は現在も周辺施設と調和して、憩いの空間を演出しています。水遊びができる水辺のテラスや海老名の観光モニュメント「七重塔」があります。



海老名は奈良時代、国分寺が建立された歴史あるまちです。それは相模川がもたらした肥沃な大地に人々がいにしえから住み着き栄えてきた証。時は流れ、相模国分寺跡にほど近い海老名駅周辺は活気のある海老名の中心地です。日本のシネコン発祥の地、気ままに歩けるショッピングストリート... 海老名の今を感じるエリアはいにしえの面影とともに寄り添い続けます。

今と昔の海老名

海老名駅周辺

1200年前に建てられた高層建築



海老名中央公園内の観光モニュメント「七重塔」は1/3スケール

七重塔

海老名のシンボル「七重塔」。この塔はかつて相模国分寺に建ち、現在でも礎石が残り、その巨大さを物語っています。日本国内では奈良県法起寺の三重塔が現存する日本最古、五重塔では相模国分寺と同じ伽藍配置である法隆寺のものが現存する最古のものだとされ、その構造は東京スカイツリーの工法にもアイデアを与えています。さて七重塔で現存するものは残っていませんが、

奈良時代の総国分寺である東大寺にはかつて100mを超える七重塔があったとされ、室町時代には京都の相国寺には110mの七重塔があったと言われていいます。当時、大きな規模を誇った相模国分寺、そこにそびえた七重塔は当時でも大変珍しい高層建築であり、海老名にそびえるその姿は昔の人々に深い印象を与えたことでしょう。

塔高約65m

相模国分寺 七重塔



海老名ライムタワー

リニータクノロジーセンター

ピナマクイースト

107.8m

99.9m

89m

海老名の高層建築との比較



D 海老名サービスエリア

神奈川県内唯一のサービスエリア。様々なショップがあり、ドライブの休憩として最適。上り線、下り線ともぶらっとパークとして高速道路利用者以外でも入れる。



C 海老名 IC

海老名市の中心地、そして厚木市の中心地にも近い圏央道のインターチェンジ。



ローカル線の佇まい

もともと相模川の砂利輸送を目的につくられた。ラインカラーは相模川の色をイメージしたブルー。

圏央道
将来的には横浜市から千葉県木更津市まで首都圏をぐるっと繋ぐ計画がある。

東名高速道路
東京ICから名古屋小牧ICまでを結ぶ346.8 kmの日本の大動脈。

JR 相模線



小田急線



A 小田急線海老名車両基地
独特なデザインの古いロマンスカーも保全。毎年、小田急ファミリー鉄道展で公開



相鉄線



B 相模鉄道車両センター

入口には大正時代から昭和初期まで使われていた「SL 神中3号機関車ハ20形」も展示されています。



いろんな道が
合流する
場所に



道が
交差点の
まち

海老名までのアクセス

バス	海老名駅	リムジンバス / 60分~85分	羽田空港	
車	海老名IC	圏央道	久喜白岡JCT	東北道
			鶴ヶ島JCT	関越道
			八王子JCT	中央道
			海老名JCT	東名道
			茅ヶ崎JCT	新湘南BP

鉄道	海老名駅	小田急小田原線	
		急行 / 55分	新宿駅
		快速急行 / 45分	箱根湯本駅
		ロマンスカー / 43分	
		ロマンスカー / 50分	
		相鉄相模線	
		特急 / 26分	横浜駅
		急行 / 32分	
		JR線	
		相模線 / 32分	橋本駅
相模線 / 30分	茅ヶ崎駅		

※時期はおおよその目安となるものです。

神奈川県中央部に位置する海老名は様々な道が交差する場所。大正時代から開通した鉄道は昭和初期には3本に加え、高速道路は昭和43年に東京ICから厚木ICまで開通しました。そして、平成22年に海老名JCTと海老名ICが開通し、圏央道が接続。鉄道と東名高速道路、2つの大きな交差点を持つ海老名の魅力を紹介します。

古代の歴史ロマンが息づくまち

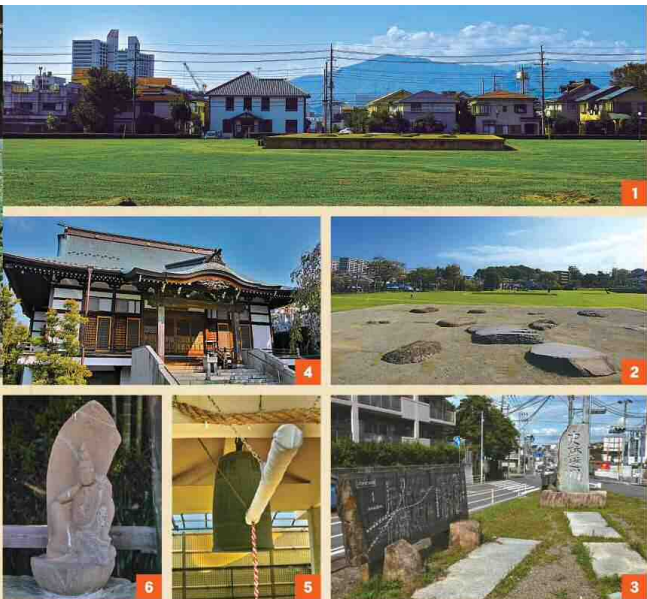
肥沃な大地が続く海老名の地は古代から人々の生活の舞台でした。

旧石器時代からの遺跡が多く眠る中、

古墳時代の秋葉山古墳群は東日本では最古級の古墳群です。

そして、海老名のシンボルともいえる七重塔が建立されたのが奈良時代の相模国分寺です。

海老名駅から少し歩けば歴史あるまち海老名を感じることが出来ます。



天平の足跡を訪ねて

奈良時代～

③ 逆川跡

国分寺建立の資材を運ぶため、目久尻川から水を引いた運河であったとみられます。

住 国分南1 MAP | C-3

①② 相模国分寺跡【国指定史跡】

天平13年(741年)聖武天皇の国分寺建立詔によって建立された寺院。法隆寺式の建物配置は珍しく、広大な寺院は全国でも有数です。復元された七重塔基壇には当時の礎石が並び、いにしへの趣を感じることが出来ます。尼僧の寺である相模国分尼寺跡は、国分寺跡の北側約500mのところであり、宅地が迫っていますが、金堂跡周辺は地域の広場として利用されています。

住 国分南1 MAP | C-3

④⑤⑥ 相模国分寺

天平時代に大規模な伽藍を誇った相模国分寺は火事や地震、動乱などを経て現在の地に佇む。境内には鎌倉時代海老名氏一族の国分季頼が国分尼寺に寄贈した銅鐘や海老名に伝わる昔話、国分尼寺僧の悲恋が伝わる「尼の泣き水」供養塔が祀られています。

住 国分南1-25-38 MAP | C-3



平安時代～

⑧ 龍峰寺木造千手観音立像【国指定重要文化財】

2本を頭上で組む像容は、京都の清水寺本尊像と共通するもので「清水寺式」と呼ばれます。平安期の特徴を持っていますが玉眼嵌入の技法から、鎌倉時代に補修もしくは再興されたものと考えられます。

住 国分北2-13-40 MAP | B-3

⑦⑨ 龍峰寺

鎌倉の建長寺の末寺とされ、観音堂をはじめ清水寺の遺構を受け継いでいます。仁王門や絵馬などの文化財も豊富。

住 国分北2-13-40 MAP | B-3

平安の面影残す千手観音

古代を語る有力者の遺構

秋葉山古墳群【国指定史跡】

秋葉山古墳群は3世紀～4世紀にかけて相模川流域で最も規模が大きな古墳群であり、地域を代表する人物を葬ったものであるとみられます。第3号墳は東日本の中でも最古級の前方後円墳で、3世紀代に造営されたと考えられています。

住 上今泉4 MAP | B-3

瓢箪塚古墳【市指定史跡】

県下でも有数の規模を誇る大規模な前方後円墳。4世紀から5世紀初頭の築造とみられます。

住 国分南3-1055 MAP | D-3

古墳時代～



☎ 046(233)4028 【開館時間】9:00～17:15

【休館日】年末年始(臨時休館あり) 【入館料】無料

住 国分南1-6-36 MAP | C-3

建物は、大正7(1918)年に海老名村役場庁舎として完成。時代の最先端をゆく近代的な洋風建築でした。



広々とした相模国分寺跡の目の前にあるこの市立郷土資料館では海老名の歴史に関する資料を収集・保存・展示しています。相模国分寺の模型や秋葉山古墳群の資料、市内の遺跡で発掘された土器などを展示しており、ガイドスタッフが館内をご案内します。

7 海老名市温故館

平成	昭和	大正	明治	江戸	安土桃山	室町・戦国	鎌倉	平安	奈良	飛鳥	古墳	弥生	縄文・先土器
2018年													3万年前頃 目久尻川流域に人が住むようになる。約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
2017年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
2016年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
2015年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
2010年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
2002年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
2001年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1996年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1993年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1989年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1987年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1979年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1968年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1967年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1958年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1955年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1947年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1927年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1926年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1919年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1918年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1908年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1900年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1899年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1892年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1889年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1879年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1857年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1831年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1707年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
17世紀初め													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
18世紀後半													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
16世紀中頃													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1438年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1439年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
13世紀中頃													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
1292年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
12世紀前半													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
878年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
819年													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
7世紀後半頃													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
3〜4世紀頃													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。
2〜3世紀頃													約1万年半前頃 土器を用いた生活がはじまる。

海老名の歴史

柏尾通り大山道

東海道戸塚から海老名南部を経て相模川を渡ります。
戸田の渡しは浮世絵にも描かれた景勝地で大山とともに富士山も望めます。

渋谷神社



元々は神寿稲荷であったとも言われ、明治6年(1873)門沢橋村の村社となり渋谷神社と改称されました。毎年7月に神輿の担ぎ手が相模川の水で清めた後、大山道沿いに置かれた燃え盛る麦わらの束を踏んで通る祭礼が今も続いています。

住 門沢橋4-11-1 MAP | H-1

浄久寺

長谷川家石造宝篋印塔群

池波正太郎作「鬼平犯科帳」の主人公長谷川平蔵の自家筋に当たる長谷川家の墓塔として建てられた15基もの宝篋印塔。この大きさと数が残るのは大変珍しい。

住 門沢橋4-11-1 MAP | H-1



寿閑寺

不動明王など近世日蓮宗において信仰されている尊像が安置されています。脇侍二菩薩像は市指定文化財。

住 本郷3453 MAP | H-3

戸田の渡し跡

この渡しがあったので江戸時代、門沢橋の宿場はたいそう栄えたという。安藤広重の浮世絵に絵が描かれたことでも有名。今も大山道標として知られる不動明王像が佇んでいます。

MAP | H-1



7 大山道標と不動明王像

江戸時代、大山は、関東一円の人々から信仰を集め登山客で賑います。そのため大山への参詣道の辻々には大山道を示す道標が建てられました。大山は不動明王を本尊とする寺で、道標にはこの像がしばしば刻まれています。不動明王は厄難除災と煩惱を断ち切ると言われ、その姿は左手に羂索をとり、右手に劔、背に火炎を背負っています。海老名市内にはいくつかの特徴的な不動明王像と多くの大山道標が残っています。大山道を通りながら道端の道標や不動明王像を探してみましょう。

- A 目久尻川沿いの不動明王像
- B 本郷の不動明王像
- C 相模国分寺の大山道標
- D 本郷の大山道標
- E 用田橋近くの不動明王像



県指定天然記念物

海老名の大榎(大ケヤキ)

この古木には相模湾が深く内陸に入り込み、この辺りが入り江だった頃に漁師が船をつなぐために逆さに打ち込んだケヤキの杭が根付き、成長したとの伝承があります。

住 国分南1-4-9先 MAP | C-3

もういち望地

青山通り大山道と県道40号横浜厚木線が交わる高台の望地の交差点では正面に大山もよく望めます。

MAP | C-3



富士塚

宝永4年の富士山の爆発で大量の降灰があり、海老名の畑や道も埋もれてしまいました。この灰を集め、塚にしたとされるのがこの富士塚で大山道標も見ることが出来ます。

MAP | C-4

子育地蔵

青山通り大山道から少し離れ目久尻川側へ堂坂を下ったところにあります。地蔵は地獄へ落ちた人々を救済し、夭折した子供も救ってくれることからこの名前がついたといわれ、お堂の周りには道祖神などの石仏も見られます。

MAP | B-3



厚木の渡し

相模川水原



大山道が通るまち

海老名からは大山がよく見えます。この山は古くから信仰の山として崇められ特に江戸時代には多くの人がこの山を目指しました。関東一円から大山を目指した道を大山道と呼び海老名市内では主要な道として二本通っています。昔から歩き継がれたこれらの古道沿いには神社や仏閣、古木、路傍の石仏が今も残り海老名のいにしへの面影を感じる絶好ポイントが多く点在しています。

昔の面影を感じる歩き旅に



青山通り大山道

東京の青山から大山を目指す代表的な大山道の一つ。江戸からの参詣道として多いに賑わい、その大部分は現在の国道246号の元にもなっていたと言われています。

赤坂

赤坂の不動明王像。山を切通した際、崖面が赤土だったため、赤坂と呼ばれました。

MAP | C-4



街と自然が
となりあっている
にや



【柏ふれあい釣り堀】

北部公園のすぐ近くにある杉本小学校の旧プールを活用した釣り堀。ヘラブナやウグイなどが放流されている。営業は、水・土・日・祝日。(年末年始休業)



☎ 046(235)0840 MAP | B-3

あるか
有鹿神社

「お有鹿さま」と尊称。子育て・厄除大社と呼ばれる相模国最古の神社。その起源は縄文の水神信仰であるとされ、奈良・平安時代には国府の崇敬も篤く延喜式内社・正一位となりました。



住 上郷 1-4-41 MAP | C-1

7

【鮎・あゆ】
数多くの鮎が遡上する相模川は釣りが選ぶ天然鮎が登る川100銘川にも選ばれていますが、別名「香魚」とも言われ、川魚の王様とも言われる鮎は6月1日が解禁。多くの太公望たちが川面に糸を垂らします。



川かゆるりと流れるまち

海老名には丘陵地帯を水源に海老名耕地をゆったり流れながら相模川に合流する河川があります。きれいな水と様々な生物を育む川沿いを歩けば見えてくる風景。変わらない時間が流れています。

- A 新相模大橋(国道246号)
- B 県立相模三川公園
- C 鳩川
- D 有鹿神社
- E 上郷水管橋
- F 海老名運動公園
- G 相模川橋梁(小田急小田原線)
- H 相模大橋
- I あゆみ橋

有鹿神社の裏手からかかる水道橋。人は渡れないが景色がいい。

最初は1908年に架けられたが地震で落橋し、現在の地に架けなおされた。いきものがかりの歌にも度々登場。

歴史的にはこの場所に大山道の戸田の渡しがあり、浮世絵にも書かれた。富士山の眺めがすばらしい。

以前は「もぐり橋」と呼ばれる沈下橋があったが、常に人が通れるように1996年に現在の橋が架けられた。

7 岸辺をつなぐ 相模川橋物語

はと 九鳥川

「有鹿河」の別称。相模原の有鹿谷の泉水から流れ落ちる鳩川の流域に稲作農耕が拡大し、海老名耕地を含み、有鹿郷が形成されました。この由来は、有鹿神社の水引祭が物語り続けます。平安末期には海老名郷となり、ここを拠点にした豪族海老名氏の館跡が河原口に残ります。

めくじり 目久尻川

河童の伝説の残るこの川は鯉の姿もよく見えます。田園風景の多い谷戸地を流れる川沿いは散策するのに最適です。

さがみ 相模川

相模川は山梨県の山中湖に源を發し、相模湾に注ぐ一級河川です。山梨県内では桂川、河口付近では馬入川と地域特有の名前で呼ばれます。海老名市では厚木市との市境を流れ、相模川越しに見える大山と富士山の美しさは今も昔も変わりません。

ながいけ 永池川

園分尼寺の近くの浅井の泉が水源と言われ、寒川町で相模川に合流します。田園地帯の流域には様々な生物が生息し、生物の観測会や釣りに適した緩やかな川です。

7 川沿いの公園で遊ぶ



県立相模三川公園

相模川、中津川、小鮎川の三つの川が合流しているほど近い場所に公園があります。園内には川遊びができる場所があります。大型のコンビネーション遊具も自慢のひとつ。スポーツ広場では野球やソフトボールの試合もできる。(要予約)

☎ 046(236)5008

住 上郷2-1-1 **MAP | C-2**



海老名運動公園

総合体育館・屋内プール・陸上競技場・野球場・テニスコート等が整備されている総合運動公園。手軽にBBQができる器具の貸出(無料)があるのも便利。また、広場ではかわいいポニーとあそぶこともできる。

☎ 046(235)7204

住 社家4032-1 **MAP | E-1**



北部公園

体育館・屋内プール・テニスコート・多目的広場などがある総合公園。目久尻川沿いにありカモやシラサギなどの野鳥観察も楽しめる。

☎ 046(292)3300

住 上今泉6-14-1 **MAP | B-4**



中野公園

公園には、芝生の中を周回する遊歩道やベンチ、総合複合型遊具などがあります。また、市内で初めて人工芝を採用したグラウンドは、その周囲をフェンスで囲み、選手用ベンチも設置され、少年サッカーの公式試合が可能です。スポーツだけでなく散策や休憩もでき、アスリートだけでなく誰もが楽しめる公園です。

☎ 046(244)0085

住 中野1-2314-2 **MAP | G-1**



おいしいお店。こだわりの逸品。
名店・名産品ガイドブック

MAP C-2	合点海老名店	046-233-4322	中央1-8-1	ピナウォーク2番館
MAP F-3	カナサシファーム	046-238-6104	杉久保南3-17-38	
MAP C-3	国分寺そば	046-231-2261	国分南1-8-35	
MAP C-2	喰の眞方	046-240-8208	中央1-14-26	オアシス1
MAP C-2	炭火やきとり 創玄	046-232-1300	中央1-15-10	
MAP G-2	タベルナイル ロカール	046-239-3313	中野3-16-20	
MAP C-3	肉のだいむ	046-232-9952	国分南1-23-28	
MAP F-2	Knock on wood 海老名店	046-232-3641	今里3-25-41	
MAP D-1	二葉菓子店	046-231-0458	河原口2-21-12	
MAP C-2	麺処 中村屋	046-233-7278	中央2-5-41	
MAP C-3	海老寿 cafe			移転
MAP C-2	蔵元佳肴 いづみ橋	046-205-0128	扇町12-33	
MAP C-2	パティスリー タダシヤナギ	046-232-0101(代表)	中央1-6-1	マルイファミリー海老名1階
MAP B-2	泉橋酒造	046-231-1338	下今泉5-5-1	
MAP D-2	M.Nashihara	046-204-6353	河原口5-3-1	クレスト山崎102
MAP D-1	御菓子司 山口屋	046-231-0471	中新田3-30-9	
MAP B-5	カスタード洋菓子店	046-232-9782	東柏ケ谷1-24-8	
MAP C-2	Queue de Lapin	046-205-4020	扇町6-7	
MAP D-1	いちご大福(御菓子司 山口屋)	046-231-0471	中新田3-30-9	
MAP D-3	いちごクリームチーズのブルンダー(ミュールハイム)	046-233-0099	国分寺台2-4-9	
MAP B-2	いづみ橋 恵(泉橋酒造)	046-231-1338	下今泉5-5-1	
MAP B-3	江戸独楽(広井木工所)	046-233-1192	上今泉1-16-1	
MAP C-3	えび〜にやマドレーヌ(レンブラントホテル)	046-235-9828	中央2-9-50	
	えび〜にや焼き(えっちゃんのおみせ)			閉店
MAP G-2	えびなイチゴ反射クリップ(法和株式会社)	046-237-3535	中野3-6-18	
MAP B-4	海老名いろはがた(ロリアン洋菓子店)	046-231-1610	東柏ケ谷2-2-40	
MAP C-2	海老名ムーンミルク(パティスリータダシヤナギ)	046-232-0101(代表)	中央1-6-1	マルイファミリー海老名1階
MAP D-2	みっちゃんの手づくりジャム(オオヤ農産)	046-234-0080	本郷4556	
MAP C-2	苺のショートケーキ(パティスリータダシヤナギ)	046-232-0101(代表)	中央1-6-1	マルイファミリー海老名1階
MAP H-1	いちごシャンプー&いちごミルクトリートメント(近代化学)	046-238-2508	門沢橋3-19-3	
MAP B-4	えび〜にやのおいしい保存クッキー缶(ロリアン洋菓子店)	046-231-1610	東柏ケ谷2-2-40	
MAP D-1	どら焼き(御菓子司 山口屋)	046-231-0471	中新田3-30-9	
MAP G-2	全面反射リュックサック(法和株式会社)	046-237-3535	中野3-6-18	
MAP D-1	六代目プリン(Re Café)	046-244-0739	河原口379-1	



えびな7のり 名産品

特産のイチゴを使用したスイーツから
伝統工芸品まで、海老名市が認定している
名産品をご紹介します。
海老名に来たらご当地おみやげは何か？

国内産の豚ロースを特製味噌にじっくり漬けた逸品。

吟味豚

姉妹都市宮城県白石市産の味噌でじっくり漬けた鶏の味噌漬。

とっどちゃん

海老名商工会議所 ☎046-231-5865

海老名の特産品であるイチゴとメロン風味のしっとり、ふっくらした上用まんじゅうです。

夢二色・果の香まんじゅう

七重塔の絵柄が入った最中。風味豊かに作り上げています。

七重最中

上質のバターをたっぷり使用して、丁寧に焼き上げた厚焼きクッキー

えびなガレット

田園風景がひろがる農業のまち

海老名耕地という名が古くからあるように海老名は昔から農業が盛んな土地です。市内に広がる田園風景は四季の移ろいを感じさせます。神奈川県内で一番の共販出荷量を誇るイチゴをはじめ、野菜や果樹、花きの栽培も盛んです。広々とした田畑に新たな発見を求めて海老名を巡ってみましょう。



両郡は田園風景がひろがるまち

火田 野菜 & 果物

トマト、レタス、キャベツ、梨など
季節ごとに旬の野菜が栽培されています。夏から秋にかけては、甘くて美味しい梨もあります。新鮮な農産物は市内の直売所などで購入できます。

農業に対する理解と楽しさを深める「収穫体験」
海老名市内では毎年掘り取り・もぎ取り体験イベントが開催されています。
(2018年度例：トマト・梨・サツマイモ)
※収穫体験の内容については、海老名市HPをご確認ください。



苺

海老名のイチゴは県内一の共販出荷量を誇り、海老名を代表する農産物の一つで、「海老名いちご」としてなかなかブランドにも登録されています。



イチゴを使った名産品

地元海老名産のイチゴをふんだんに使い、食の安全と安心を追求した逸品です。「いちごわいん」は昭和63年に海老名市の特産品第一号に指定されたやや甘口のフルーツワインです。「いちご酢」は酸味と甘みのバランスが取れたフルーティーで飲みやすいお酢です。

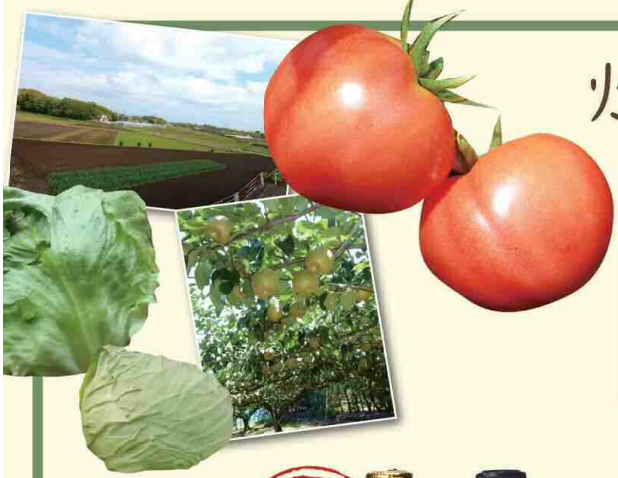
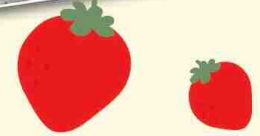


海老名産の新鮮野菜を買おう!

生産者から直接新鮮な農産物を購入できます。市役所や農協、大型店舗などで配布している「海老名産農産物直売所マップ」には、花や野菜、果物などの直売所を掲載しています。ぜひご活用を。

JA さがみ海老名グリーンセンター
【時間】9:00～17:00
【定休日】毎月第3水曜日及び12/31～1/3
☎ 046 (234) 0080
住 海老名市大谷 246 MAP | D-2

JA さがみ海老名駅前農産物直売所
【時間】10:00～17:00
【定休日】日曜日(1月から3月は無休)
☎ 046 (234) 5310
住 海老名市中央 1-1 MAP | C-2



米

市内には広い面積の水田があります。「さとじまん」「キヌヒカリ」をはじめ、米の食味ランキングで「特A」をとったこともある神奈川県産の品種「はるみ」の栽培も増えてきています。



地酒
生産量県内一を誇る酒米の代表種である海老名産の「山田錦」から造った地酒です。

花

バラ、カーネーション、スイートピー、コチョウランなど様々な花が栽培されています。色鮮やかな海老名の花は、花持ちが良く、プレゼントとしても人気です。市の直売所で購入できます。



バラ カーネーション スイートピー コチョウラン

1年中楽しめるまち

EBINA EVENT CALENDAR



えびな市民まつり

見て、食べて、遊んで楽しめるイベントが盛りだくさん。花火も打ち上げます。



商工フェア

見て、聞いて、触れて、味わって心の感動を！市内の「EMO」「Eあじ」が立ち並び、海老名の産業を身近に触れることができます。



VINA WALKひかりのファンタジー

クリスマス、年末とイルミネーションイベントで光り輝きます。

- 1月 Jan.
- 2月 Feb.
- 3月 Mar.
- 4月 Apr.
- 5月 May.
- 6月 Jun.
- 7月 Jul.
- 8月 Aug.
- 9月 Sep.
- 10月 Oct.
- 11月 Nov.
- 12月 Dec.

出初式

迫力ある新年の風物詩。



桜をみよう

清水寺公園
国分寺台緑道
県立相模三川公園
目久尻川沿い遊歩道
貫抜川放水路沿い



鮎解禁

鮎釣りのメッカ、相模川で釣り人お待ちかねの日。10月中旬まで楽しめます。



かかしまつり

実りの秋を祝って、稲の刈入れを行う時期に中新田で行われます。市民の作ったかかしコンテストが好評です。



オススメ

紅葉を楽しもう

清水寺公園
海老名運動公園
大谷観音堂
海老名市役所駐車場



春 三川公園の桜と芝桜



冬 VINA WALKひかりのファンタジー



秋 かかしまつり



夏 えびな市民まつり花火



秋 収穫前の田園



冬 雪景色の大山

四季の移ろいを感じるまち

相模川沿いの桜の色、夏祭りの花火の大輪、金色に色を染める田園風景、澄み渡った空気に映える大山の眺望…。海老名には昔から変わらない季節の彩りがあります。四季それぞれに違った色彩を見せてくれるまちの風景をご紹介します。



海老名の大榎

樹齢570年ともいわれる郷土の名木、「逆さケヤキ」とも呼ばれています。県指定天然記念物

MAP | C-3



有馬のはるにれ

通称「なんじゃもんじゃ」の木と呼ばれ、樹齢は300年以上とみられます。県指定天然記念物

MAP | G-3



大谷観音堂のカヤ

二股に分かれて屹立する巨樹で別名「相生のカヤ」とも呼ばれています。樹齢は400年以上とされています。

MAP | E-2

今福薬門公園

歴代の当主が植えた樹木などによる屋敷林が貴重。珍しい野草も多く存在し、春夏秋冬、様々な自然の表情を見ることができ。国登録有形文化財【時間】10:00~16:30



MAP | D-2 住 中新田 1-1495-5

無形文化財



大谷歌舞伎

江戸時代後期より演じられ、昭和初期に中断しましたが、戦後復活し、昭和50年には市重要無形文化財に指定されました。大谷八幡宮や市民文化祭などで公演しています。



ささら踊り

江戸時代に始まったささら踊りは、ビンザサラと小太鼓を鳴らして踊るもので、大正期に一時衰退したものの昭和50年代に復活。市民文化祭などで見ることができます。県指定無形民俗文化財に指定



お囃子

毎年「新春はやし叩き初め大会」をはじめ「市民まつり」、「市民文化祭」などで、見事なバチさばきや笛の音を披露してくれます。

イベントでお祭りや会える

すずめの唐櫃(彦六ダブ)

昔、下今泉の鶴松に住む彦六という若者が、鳩川に落ちたナタを拾いに水の中に飛び込むと、川底で美女に出会いました。立派な御殿に案内され、ごちそうがふるまわれ、彦六は三日三晩過ごし、帰るとき、宝の玉が入った手文箱をもらいました。しかし、帰ってみると、すでに三年の歳月が経っていました。彦六の話聞くうちに、家の人には手文箱の中身を知りたくなりました。家の人があつこく頼むので、彦六は箱を開けてしまいました。すると大きな雷が鳴り、彦六も箱も消えてなくなりました。その夜、みんなは天女のような美女に彦六が手を引かれ、雲の彼方へ飛び去っていく夢をみました。

尼の泣き水

天平13(741)年、聖武天皇は、国ごとに国分寺と国分尼寺を建てるよう命じ、相模国では海老名の地に国分寺と国分尼寺が建てられました。その頃、若い漁師と国分尼寺の尼さんが恋に落ちました。ある日、漁師が困った様子で尼さんに、七重塔の屋根の飾りが輝くので、魚が逃げてしまい、取れないと話しました。その夜、漁師のことを思うあまりに尼さんは国分寺に火をつけ、国分寺は焼けてなくなりました。尼さんは捕らえられ、丘の上に生き埋めにされ、刑に処せられました。その後、不思議なことに、その場所から湧き水が流れ出て、村人は尼さんが罪をわびて流している涙と、その湧き水を「尼の泣き水」と呼びました。

門石

門沢橋に長径1メートル位、短径60センチメートル位、亀の甲羅によく似ているとされる門石という石があるそうです。昔、相模国分寺の伽藍を建立するときの礎石をここへ落としてしまい、そのままになっているという言い伝えがあります。この門石は、陸へ揚げると地区内に騒動が起こるといわれていたため、川床にそのままになっていましたが、大正の初期に一度、村人が協力して地区内の渋谷神社境内に運び、神官におはらいをしてもらって祭ったことがありました。ところが、その後小作騒動が起こったことから、やむなく再び元のところに納めました。今は川底に埋まっ

椿地蔵

江戸時代のころ、武家の母娘が杉久保村をとおりかかった際、娘の容体が悪くなり、介護の甲斐なく娘は帰らぬ人となりました。哀れに思った村人たちは、お地蔵様をまつり供養しました。そのときに供えた椿の一枝が根付き、つぼみをつけるまでに育ちましたが、不思議なことに毎年花が咲かないうちに落ちてしまいます。村人たちは、若くして花咲くことなく亡くなった娘の心が椿に宿ったのだらうといつしか信じるようになりました。



海老名市の伝説

海老名市内に伝わる伝説の一部をご紹介します。

鈴木三太夫



近世前期の大谷村明主であり、義民として伝えられている。本名は三左衛門で、生年は不詳である。1684(貞享元)年、時の領主旗本町野幸重の過重な年貢賦課に対して、その軽減を願ったが聞き入れられず、最後に幕府に直訴を企てるが、事前に発覚して町野氏に捕えられた。4月27日、今里村にあったと言われる町野氏の代官所で、幼い2人の子供と共に斬首され、あらかじめ離別していた妻も翌日自刃した。市の「郷土かるた」には「農民をかばって義民三太夫」とあり、大谷の鈴木三太夫霊堂、日蓮宗妙常寺にある三基の鈴木三太夫墓石、今里の県立中央農業高校敷地内にある「義民鈴木三太夫処刑址」標柱などで、多くの市民に周知のこととなっている。1973年には大谷自治会が石碑を建立し、小島直司氏によって書きまとめられた「義民の伝記」が刻まれた。現在でも毎年4月27日には慰霊祭が行われ、供養が営まれている。

大島正健



北海道大学附属図書館 所蔵

1859(安政6)年、中新田村に生まれる。大島正徳は甥。73(明治6)年、海老名学舎に学び、翌年15歳で東京牛込の逢坂学校に入学。75年には東京英語学校(後の東京大学予備門)に入学し翌年、札幌農学校(現北海道大学)官費生としてW・S・クラーク博士の教えを受ける。80年、北海道開拓使御用係に雇用され、農学校予科教員として後進の教育にあたる一方、札幌独立教会の建設に奔走、82年には同教会の創立を実現した。93年、34歳で札幌農学校を辞し、同志社(京都府)などの校長を経て、1901年、山梨県立甲府中学校(現甲府第一高等学校)校長として赴任。16年、当時日本の領土であった京城府(大韓民国)の私立セプランス医学校(現延世大学校)教授として渡韓。4年後の20年に同校を辞して、府内の私立養正高等学校で教鞭をとるなど、国際的視野で研究・教育を重ねた。

中山毎吉



1868(明治元)年、国分村に生まれる。生家は名主、村用掛を務め、農業・染物業を営む豪農であった。76年に国分学舎(現綾瀬市小園)に入学し、卒業後は同校の補助教員となる。その後は初等教育の教員免許を取るべく勉学に動いた。90年からは郷里の啓蒙学校の訓導に就任、1902年には同校の校長に昇進した。そして海老名小学校勤務時代からは郷土史の研究を本格化させ、相模国分寺を中心とした遺跡などの調査・研究を開始した。18(大正7)年からは、県費補助を受けて史跡や文化財の保存事業を行い、貴重な古墳や旧跡が調査・保存された。さらに24年には矢後駒吉との共著で、先駆的相模国分寺研究である『相模国分寺志』が刊行。初代「温故館」には、多くの貴重な遺物が収蔵・展示された。24年に横浜に移住して海老名から離れたが、研究熱意は褪せることなく、関係する仕事を熱心に続けた。

望月珪治



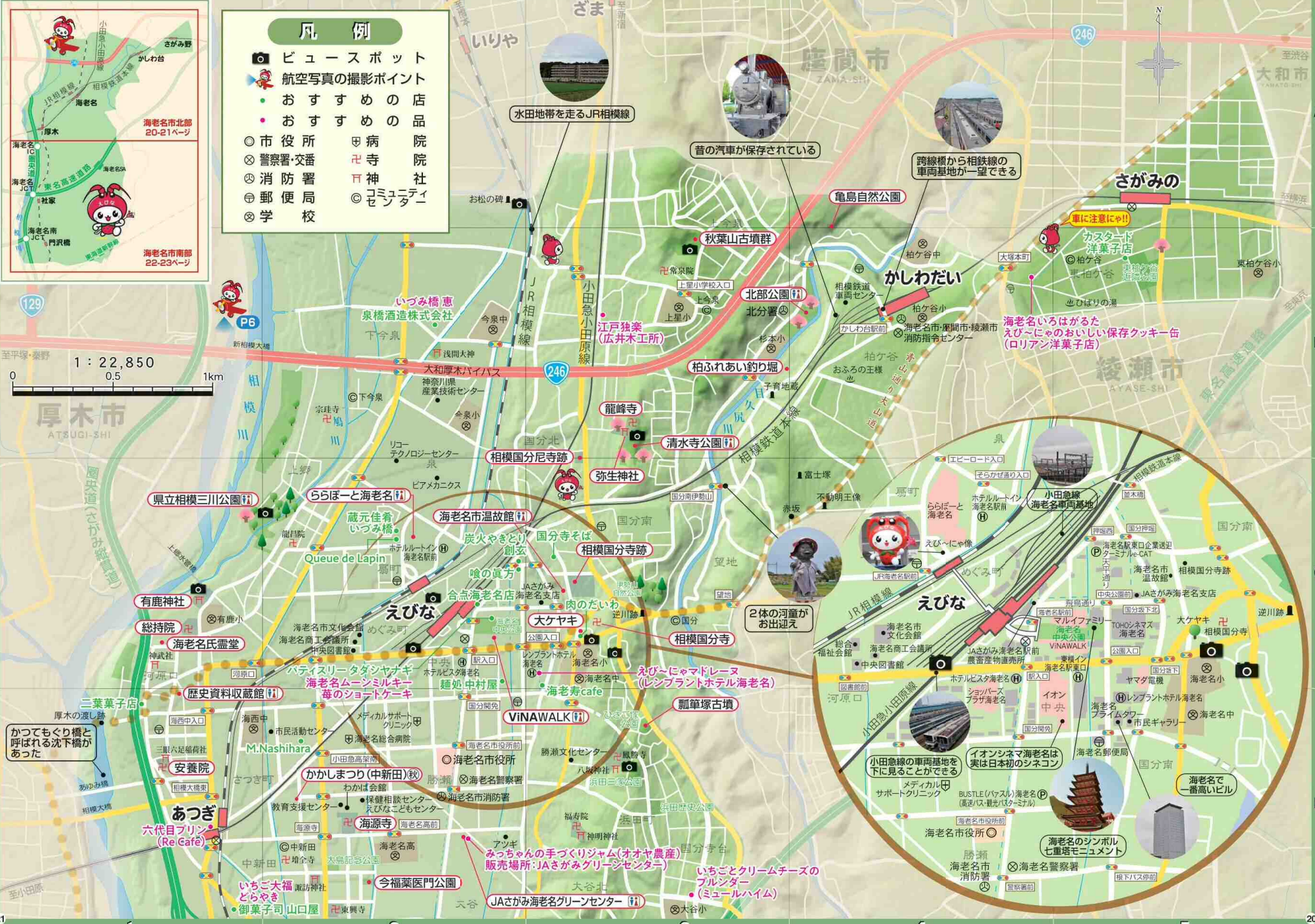
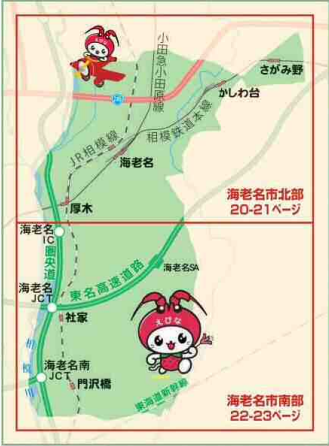
1883(明治16)年、河原口村に生まれる。1911年8月、29歳の若さで海老名村助役に就任。14年11月から20年3月、28(昭和3)年5月から46年4月まで、6期23年余りの長きにわたり、海老名村・町の首長を務めた。この間の1918年4月、村役場新庁舎(現温故館)を完成させている。30(昭和5)年8月、県知事の認可を受けて「相模川左岸普通水利組合」を設立、40年3月竣工した。これは海老名村をはじめ7町村にまたがる、幹線延長20km余という大灌漑用水工事で、望月は水利組合長として奔走した。56年5月にはその功績をたたえ、「望月珪治翁顕彰碑」が建てられている。続いて41年、海老名耕地整理組合が設立され、暗渠排水区画整理事業を行うにあたっても指導的役割を果たし、52年、この事業を完成に導いている。その後、相模実業銀行取締役など、実業界でも重きをなした。



海老名市偉人の紹介

凡例

- ビュースポット
- 航空写真の撮影ポイント
- おすすめの店
- おすすめの品
- 市役所
- 警察署・交番
- 消防署
- 郵便局
- 学校
- 病院
- 寺院
- 神社
- コミュニティセンター



水田地帯を走るJR相模線

昔の汽車が保存されている

跨線橋から相鉄線の車両基地が一望できる

海老名いろはがるた えび〜にゃのおいしい保存クッキー缶 (ロリアン洋菓子店)

柏ふれあい釣り堀

2体の河童がお出迎え

えび〜にゃ像

小田急線の車両基地を下に見ることができる

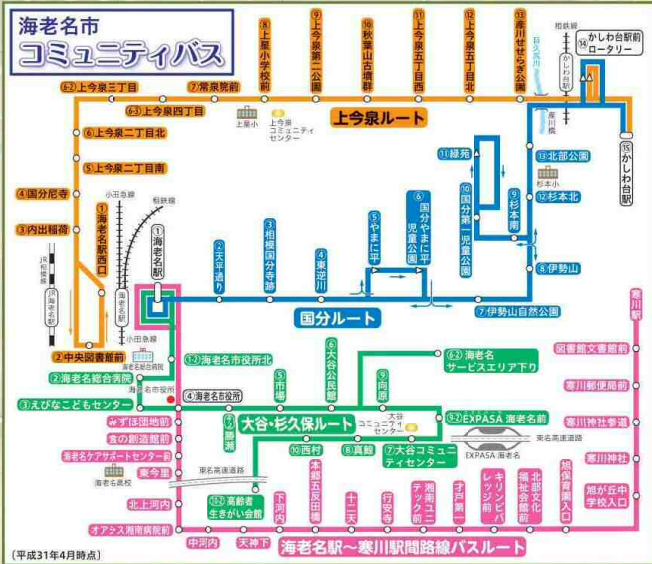
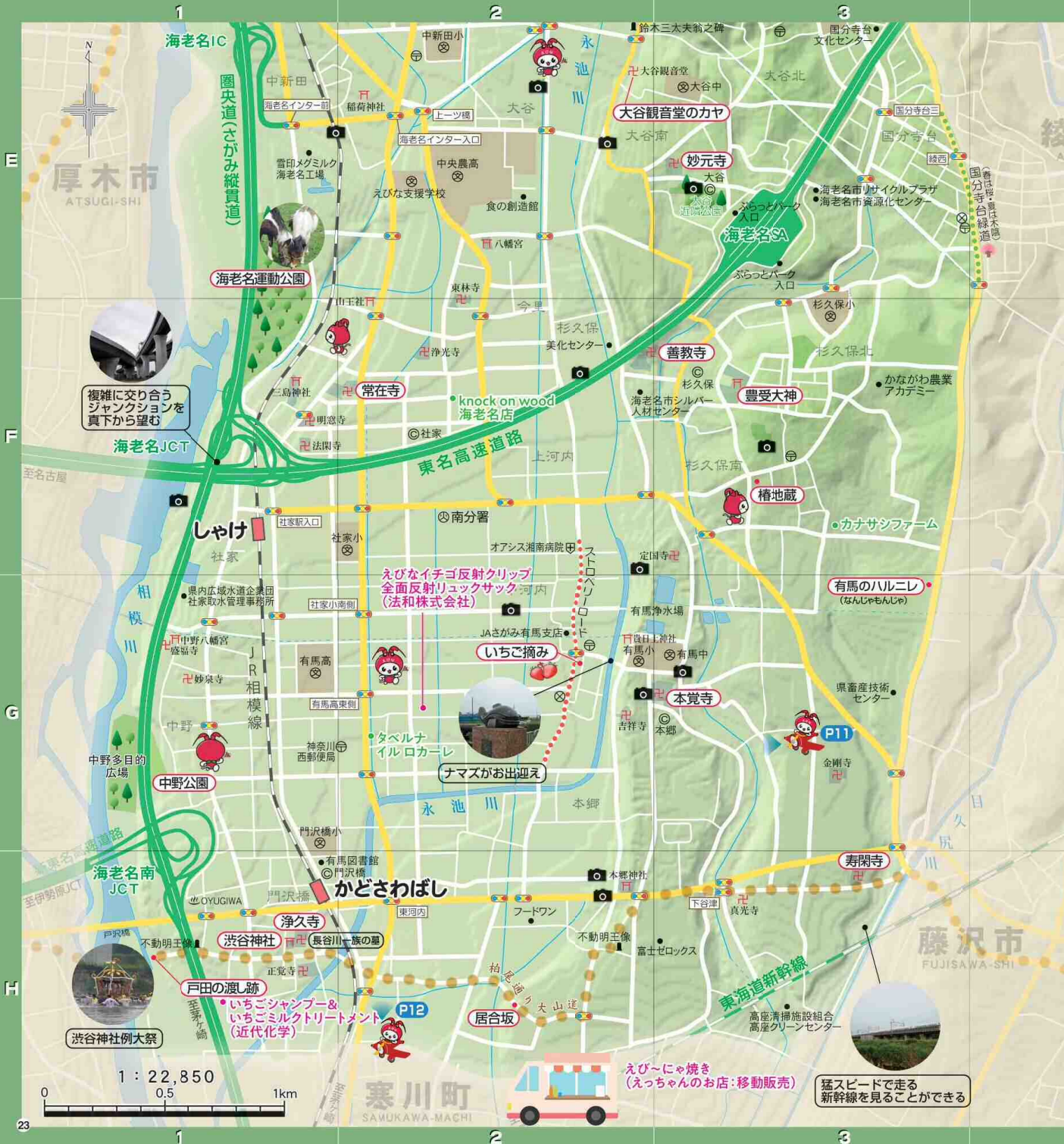
海老名で一番高いビル

かつてもぐり橋と呼ばれる沈下橋があった

みっちゃんの手づくりジャム(オオヤ農産) 販売場所: JAさがみグリーンセンター

いちごクリームチーズのブルシダー (ミュールハイム)

JAさがみ海老名グリーンセンター



上今泉/国分/大谷・杉久保ルート

運賃：大人 150円
小児 80円

※大人1人につき同伴する幼児(1才以上小学生未満)は2人まで無料

運賃表 海老名駅～寒川駅間ルート

	現金運賃					IC運賃				
	海老名駅	海老名市役所	倉の創造館前	オアシス湘南病院前	本郷五反田橋	海老名駅	海老名市役所	倉の創造館前	オアシス湘南病院前	本郷五反田橋
寒川駅	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
寒川神社	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
北野文化福祉会館前	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
湘南ユニテック前	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
本郷五反田橋	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
オアシス湘南病院前	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
倉の創造館前	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
海老名市役所	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180
海老名駅	180	175	180	175	180	180	175	180	175	180